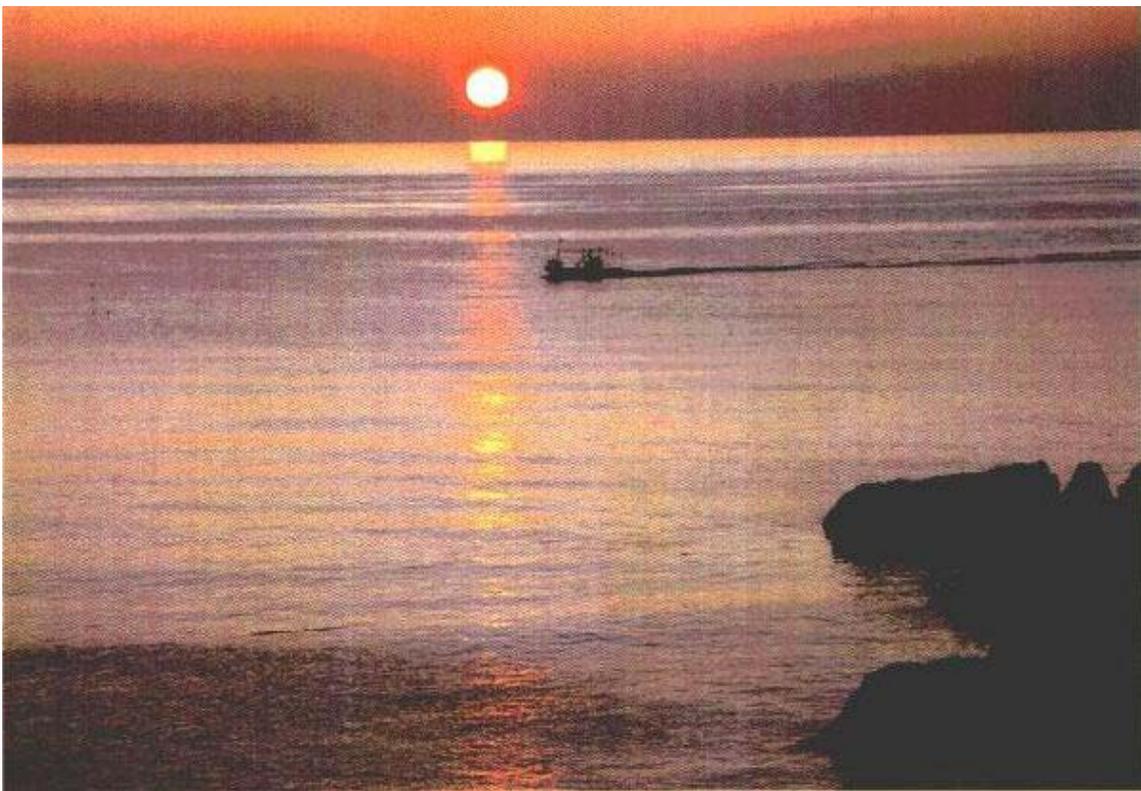


めでいかすどる  
*Médicastre*



「夕 陽」

鶴岡地区医師会

19年 9月号

## 「 高齢者の画像診断 」

帝京大学医学部客員教授 築根イメージング代表

築 根 吉 彦 先生

画像診断装置の飛躍的な進歩により、臨床各科の画像による診断の重要性はかなり高まっている。殆どの画像診断装置は画像を構成するパラメーター（数値）をコンピューターで解析して白黒濃淡で表したものであり、虚像である。これらの撮像を理解せずある程度作られた画像のみのパターン認識で判断する事は診断を誤った方向へ導く可能性がある。

今回はまず最初に画像診断装置のパラメーターと特性について簡単に説明する。次に高齢者の画像診断について、加齢による変化を中心として解説する。

正常な加齢というものがあるとすれば、病的な変化と変性との間にある程度の線を引かなければならない。これは日常診療の場でもたびたび問題となる事ではあるが、画像診断でも同様である。この線はどうしてもあいまいで主観的にならざるを得ないが、決して一方通行ではなく臨床との関係を保ちながら決定せざるを得ない。

今回は脳・胸部・小骨盤腔・骨を中心として、加齢による変化や変性とそれと関連する病気について解説する。広範囲になる為、全てを網羅する事はできないが、できるだけ common disease との関連について、MRI・CT 画像を中心として画像を呈示しながら所見の意味と臨床との関連性について解説する。

## 私のお勧めの店 その22

横山 靖

今年の夏は暑かった。夏と言えば枝豆にビール！！もいいが、私にとって夏の清涼を与えてくれるものは何といても生ハム・メロンにシャンパンである。もちろんメロンは、庄内名産のアンデスメロンでもOKである。リーズナブルでうまいメロンである。ちなみにアンデス・メロンの由来をご存知だろうか？南アメリカのアンデス山脈が産地？？なんて思いそうだが、実は『安心です』メロンの略なのである。なんだか親近感が湧くメロンである。問題なのは生ハム。残念だが、これは日本産のメーカーものはダメである。しょっぱいだけで生ハムというより豚肉の塩漬けのようである。これではメロンには合わない。何が足りないかといえば、豚肉の熟成感である。やはり熟成した肉特有の甘みと旨味が欲しい。できればイタリア産の生ハムか、スペイン産の生ハムがいい。ご心配なく、ちゃーんと鶴岡で手に入ります。例えば『ふーしゃ』のお酒のおつまみコーナーには置いてあります。この生ハムをぜひメロンに載せていただきたい！！生ハムの程よい塩加減がメロンの甘さを引き立て、さらメロンの甘さが生ハムの熟成した甘みと調和する幸福……、さらにこのおいしさにメロメロになったお口に、辛口のシャンパンを流し込むのだからもう極楽のようである。肝心のシャンパンだがお勧めはモエ・エ・シャンドン (MOET & CHANDON) のブリュット・アンペリアル (BRUT IMPERIAL)。お店で一番多く見かけるあのシャンパンである。値段も手頃だし、3種のブドウのブレンドが絶妙でおいしく、世界でもっとも飲まれている。このモエ社は、英国王室のほか、スペイン、ベルギー、スウェーデン、デンマークの

王室の御用を賜っており、最高級シャンパンはあのドンペリである。また、このアンペリアルという言葉は『皇帝の』という意味なのだが、フランスで皇帝といえばもちろんナポレオン。ナポレオンが王立陸軍学校時代、モエ社の御曹司であったジャン・レミー・モエは田舎から出てきたナポレオンを弟のように可愛がり、面倒を見た。それで将軍となったナポレオンは勝利するとモエ社のシャンパンで祝杯をあげたそう。このようなナポレオンとの深いつながりから、モエ社の主力商品のこのシャンパンにはアンペリアル (IMPERIAL) という名前がつけられたのである。ついでに、フランス語のお勉強を少し。アンペリアルのスペルは IMPERIAL であるが、英語読みならインペリアルである。実際、そのように間違っただけで表記して売ってる酒屋もあるが、フランス語では im、in、am、an、em、en、um、un、ym、aim、ain、eim、ein は『アン』と読むのである。モエ社は MOET と書くが、フランス語では最後の子音は読まないからモエ。例えばパリ (PARIS) は最後の S は読まないからパリ。これをそのまま英語読みにした例が、あの刑務所に入ったパリス・ヒルトン。そう彼女の名前はパリ、せっかく父親のホテル王が芸術の都の名前をつけたのにね……。それにこの名前じゃまるでパリのヒルトン・ホテルのようである。

# マイペット&マイホビー

- 第48回 -

黒澤明充

## 琴古流尺八

琴古流尺八を習い始めて6年になる。それまで、特に楽器を演奏したことはなかったが、突然、何かしてみたくなった。できれば日本古来のものがよいと思い、邦楽の演奏会を聞きにいった。琴は大きくて演奏しているのは女性ばかりだった。三味線はとても速い指の動きが大変そうだった。尺八は男性ばかりで、大きさも手頃に思えた。

邦楽器店で木製の尺八を買い、指導してくれる師範も紹介してもらった。紹介して頂いた先生がたまたま琴古流だった。尺八の流派には琴古流と都山流がある。琴古流は江戸時代からある流派で、虚無僧の流れを引いている。都山流は明治時代に入ってから作られた新しい流派で、琴古流よりも参加者が多い。

尺八は縦に持って吹くが、フルートと同じように奏者が自らの口形によって吹き込む空気の束を調整して音を出す。歌口の装置（ブロック）によって簡単に吹けるリコーダー（いわゆる「縦笛」）とは異なるため、音を出しにくいとされている。幸い、私は初めから音が出たが、数ヶ月努力しても音が出ず尺八を諦めた人もいる。尺八は孔が五つと少なく、息の吹き込み方、指による孔の塞ぎ方、口と歌口の角度を変える、などにより音程を変化させる。

琴古流尺八の楽譜は、カタカナを墨で縦書きにしたもので、カタカナの中央にある細い縦線の本数で速度を表現している。びっしりとカタカナが続いているので、演奏中に吹いている部位を見失うことがよくある。特に、寝不足や疲れている時は、瞬きしただけでどの行かも分からなくなって

しまう。

演奏する曲は、外曲といって琴や三味線の曲に尺八のパートをつけた曲が多い。ほとんどに地歌といわれる歌が付く。琴や三味線を弾きながら歌を歌うのは、楽器の旋律と歌の旋律が違うので難しそう。邦楽では指揮者がいないので、合奏は演奏を合わせるのが難しい。普段は尺八だけで練習しているが、年に数回、琴や三味線のグループと合奏練習をする。尺八のグループも琴・三味線のグループも年配の方が多いが、楽しい合奏練習会である。

本曲といって、かつて虚無僧が吹いていた尺八

本来の曲もある。味わい深く吹けるようになりたいものだ。

私の属する尺八グループは、曹洞宗梅花流詠讃歌（御詠歌と御和讃）を尺八で演奏し、御詠歌を歌うグループとの合奏も行う。寺回りと呼ばれて、年に一度は東北各地のお寺で御詠歌と御和讃を奉納している。

3ヶ月は続かないだろうといわれながら始めた尺八も6年たった。尺八の音は出せても、よい音色を出すのは大変難しい。諦めずに毎日吹き続けるのが大事のようだ。私の参加しているグループには10年、20年と尺八を続けている人が沢山いる。私ももうしばらく続けたいと思っている。

# 楽しかった体育大会

日時：平成19年8月24日（金）

場所：小真木原体育館

以前は県内准看護学院親善体育大会として多いときは7校が参加してバレーボール大会を行っていましたが、准看護学院の相次ぐ閉校に伴い今年から当院だけになってしまいました。それでも学生は日頃のストレスを発散させようと今年に入るとすぐ実行委員会を立ち上げ内容の検討に入りました。クラスのメンバーを2つに分け4チームでの対抗戦とし、結果は予想通り2年生が優勝・準優勝でした。お忙しい中参加させていただいた病医院の皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。

## 2年 阿部ひとみ

体育大会をすると聞いた時、昨年の酒田との大会を経験しているだけに、果たして私たちの学院だけでできるのだろうかと不安がありました。人数も少ないし、知っている顔ばかりでは昨年のような気合も入らないような気がしました。しかし、プログラムも分かりやすく作成しており、開会式・閉会式、各陣地や本部席まで準備しており、ワクワクした気持ちになりました。午前中の競技は殆どの人が殆どの種目に出場しなければならず、昨年のように殆ど応援で終わるということはありませんでした。また、競技への出場、応援、そして審判、一人ひとりが忙しく動き回ること大会を行っている実感がわき、達成感もありました。みんな汗だくでヘトヘトになり水を飲まずにはいられない状況は、昨年の体育大会ではなかったことでした。無事終わることができたのも実行委員・HR委員が忙しい中夏休み中に集まって準備してくれたおかげだと思います。夏休み明けにいろいろ依頼されてもみんな快く引き受けていた姿をみて、さすが2年生だなと思いました。今までいろいろな行事を行ってきて実行委員の大変さ、行事を成功させる大変さをみんな十分すぎるほど知っているからだと思います。学院を離れての行事はこれが最後ですが、最後にこんなに楽しい思い出を作ることができて良かったです。でも身体は悲鳴をあげている。

## 1年 佐藤 雅人

何年振りとなる行事で最初は気恥ずかしい感じでしたが、終わってみたらすごく楽しい思い出となりました。クラスの連帯感や競技で勝ちたい気持ちが表に出てその辺が一番楽しかったです。結果的には私がいたBチームは最下位となりましたが、練習の時と比べるとできなかったことができていたり、びっくりするようなプレーがでたりして、最下位だったものの一生懸命取り組めたので良かったと思います。来年は2年生を見習い、競技だけでなく、体育大会全体を盛り上げられるよう頑張ろうと思います。



## 表 紙

「夕 陽」

齋 藤 壽 一

晩夏の日、離島に旅をしました。日中より素晴らしい天気でしたから夕景が期待されました。夕食前のひと時島を半周した最後に、とある坂道で思いがけないほど美しい夕陽に出会いました。何の変形もない全くの円をした大きな太陽が垂直に沈んでいきました。声も出せず感慨に耽っていると、俵万智の‘危うい色の夕焼けに会う’という言葉が浮かんできました。

～ 編 集 後 記 ～

福原 晶子

数々の記録を塗り替えた猛暑もようやく峠を越し、朝夕の風が涼しくなってきました。まだまだ日中は蒸し暑さが残っていますが、時折、掛け布団が恋しいような陽気の日もあり、あっという間に秋の気配が近寄ってきています。

そんな気候の中、ここ一ヶ月あまり、1日1万歩を目処にウォーキングをしています。年々せり出てくる下腹が気になり、腹筋運動も全く効果がなく、それに加えて、昨年の健診でコレステロール、中性脂肪が高値だったことが決心した原因です。悲しいかな、これが中年だと言わんばかりの体型の変化は、如何ともしがたいものがあります。水泳も全身運動で良いのですが、泳ぎは苦手だし、手っ取り早く始められる事ということで、夕食後、1時間から1時間半を目安に、市内をウロウロ歩いています。

長続きさせるために、毎日だけでなく良いから週3回は歩く、1万歩が無理でも6千歩くらいは歩く、天気の悪い日は無理をしないなど、多少の逃げ道も作って始めたのですが、それが良かったのか、何とか続けられています。

歩いていて気づいたのは、同じように歩いている人がたくさんいるということです。ヘルスアップ事業などの影響で、健康に気をつけている市民が多いのでしょうか。鶴岡公園の周りを歩くことが多いのですが、そこだけでなく、内川の川端通りから山王通りまで、どこを歩いても、夜暗いというのに、そこかしこでタオルを手に歩いている人と行き交います。皆さん、真剣な顔つきで、黙々と歩いています。

来春から始まる特定健診は、未だ実施についての具体的な要綱が見えてこないようですが、保健指導等の結果次第で、私と同類の方々が増えていくのでしょうか。体重、体脂肪はあまり変わりませんが、少しだけ太ももが細くなったかな、と自己満足で今日も夜な夜な歩き続けています。

編集委員：中村秀幸・伊藤末志・齋藤憲康・五十嵐裕・福原晶子・岡田恒人

発行所：社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail tsurumed@mwnet.or.jp

URL <http://www.mwnet.or.jp/~tsurumed/>

印刷所：富士印刷株式会社 鶴岡市美咲町27-1 TEL 22-0936(代)